

## 議決権行使レポート

証券コード 6997

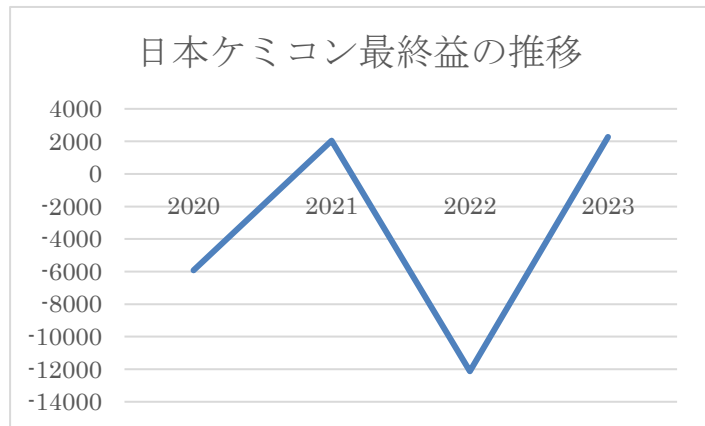
会社名 日本ケミコン

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役選任			
上山 典夫 氏	○		
石井 治 氏	○		
岩田 巧 氏	○		
今野 健一 氏	○		
川上 欽也 氏	○		
宮田 鈴子 氏	○		
吉田 浩 氏	○		
第2号議案 補欠監査役選任			
小川 薫 氏	○		

### 上記の推奨をした理由

#### ・第一号議案

上山氏は、2019年より日本ケミコンの代表取締役社長を務めている。日本ケミコンの業績の指標として過去四年分の最終益の推移をみると右図のグラフのようになっている。経営が不安定になっている部分もあるが、2023年時には大きく業績を伸ばしている。また上山氏の経験、スキルも十分に生かすことができると考え、妥当な人材と考えた。



石井氏は経理部門、才良事業部門を経て、当社における財務及び会計に関する知識を多く有しており、当社の財務戦略において必要不可欠な人材であると考え。

岩田氏は海外子会社の役員も務めており、国際的な会社経営における豊富な経験と知識が武器になると考え再任を支持する。

今野氏は上席執行役員を務めており、製品および生産技術における豊富な経験・スキルを有しているため事業戦略に欠かせない人材と考え。賛成する。

川上氏は横浜ゴム株式会社で幅広い分野で経営に携わっており、その経験やスキルから社外取締役として十分に日本ケミコンの経営を監督できると考えるため、適任である。

宮田氏は株式会社テレビ東京ホールディングスの法務部門、リスク管理部門で経営に携わっており、その経験から日本ケミコンの企業経営と法務、リスク管理について客観的立場から十分に監督できると考える。

吉田氏は旭化成株式会社のマテリアル領域で経営に携わっており業種も近いことから十分に経営を監督できると考えた。

・ 第二号議案

小川氏は長年公認会計士として活躍されており、監査業務における知識が十分に生かせると考えたため賛成である。しかし小川氏は日本ケミコンの経営に関与された経験がないという部分が不安要素である。